

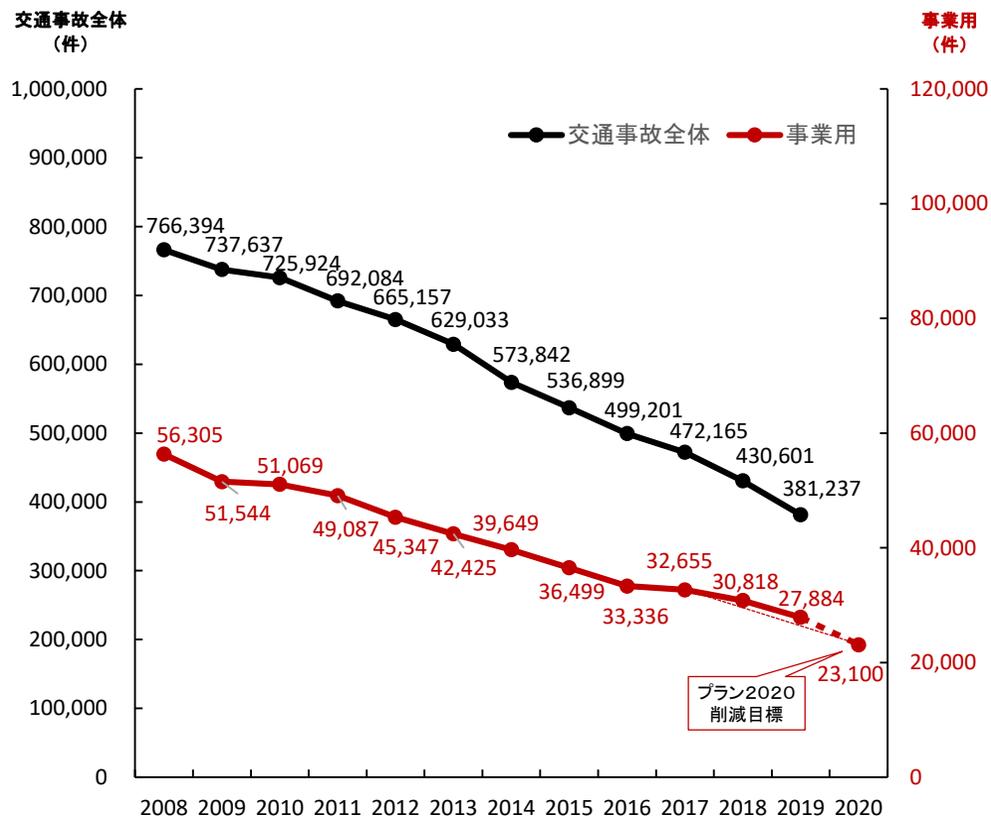
事業用自動車総合安全プラン2020

～最近の交通事故発生状況等～

交通事故件数の推移

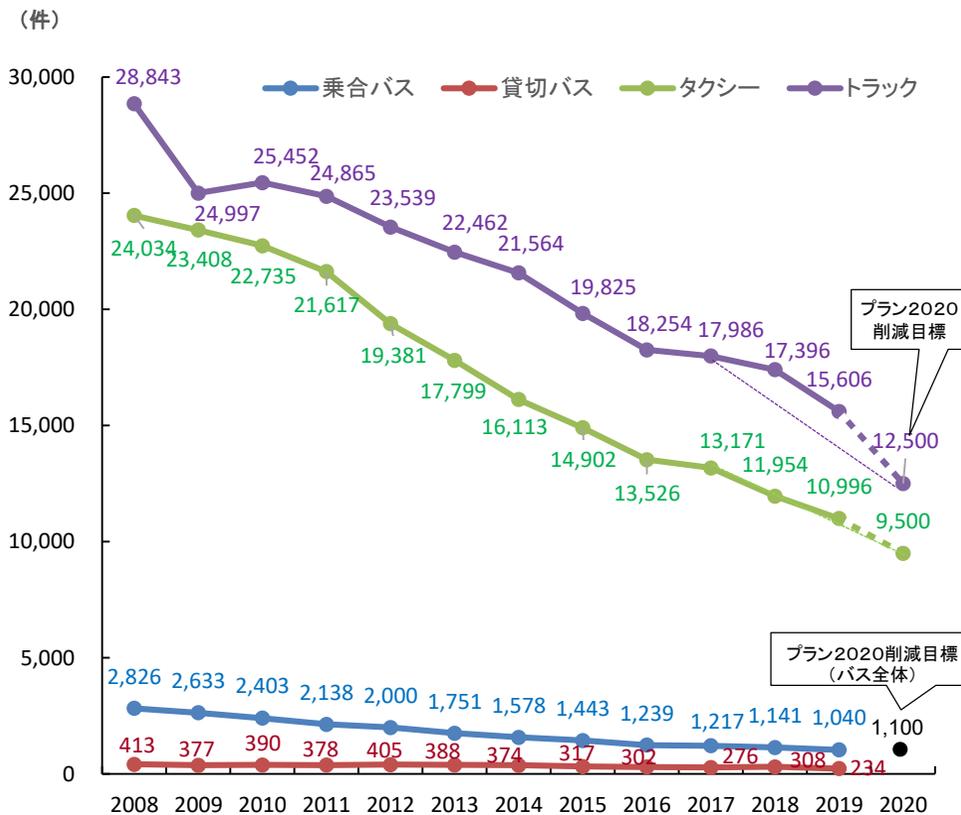
- 2019年中に発生した交通事故全体の件数(人身事故件数)は**381,237**件であり、そのうち、事業用自動車の交通事故件数は**27,884**件となった。(事業用自動車が第一当事者である人身事故件数)
- 各モードの交通事故件数は、全てのモードにおいて前年に比べ減少している。

交通事故全体と事業用自動車の交通事故の推移



出典：警察庁「交通統計」
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

各モードの交通事故の推移



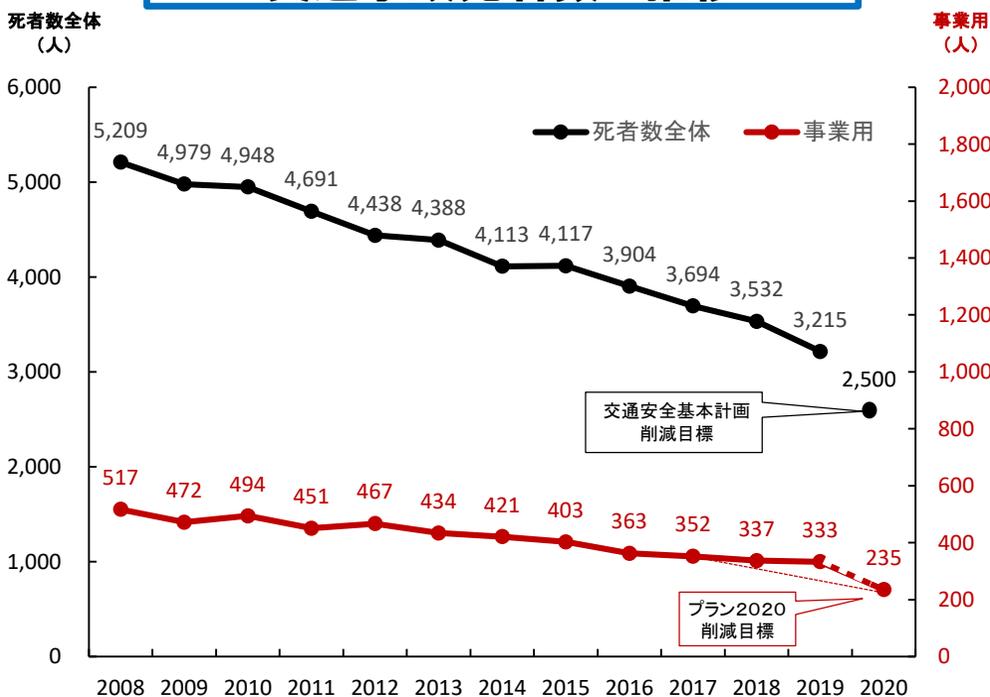
出典：警察庁「交通統計」
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

交通事故死者数の推移

- 2019年中に発生した交通事故全体の死者数は**3,215**人であり、そのうち、事業用自動車の交通事故死者数は**333**人となっている。
- 交通事故全体の死者数、事業用自動車の交通事故死者数とも、**減少傾向で推移しているが、事業用自動車については減少率の低下が見られる。**
- 2019年の各モードの交通事故死者数は、**トラック・タクシーは前年と同水準であり、乗合バスは減少、貸切バスは増加している。**

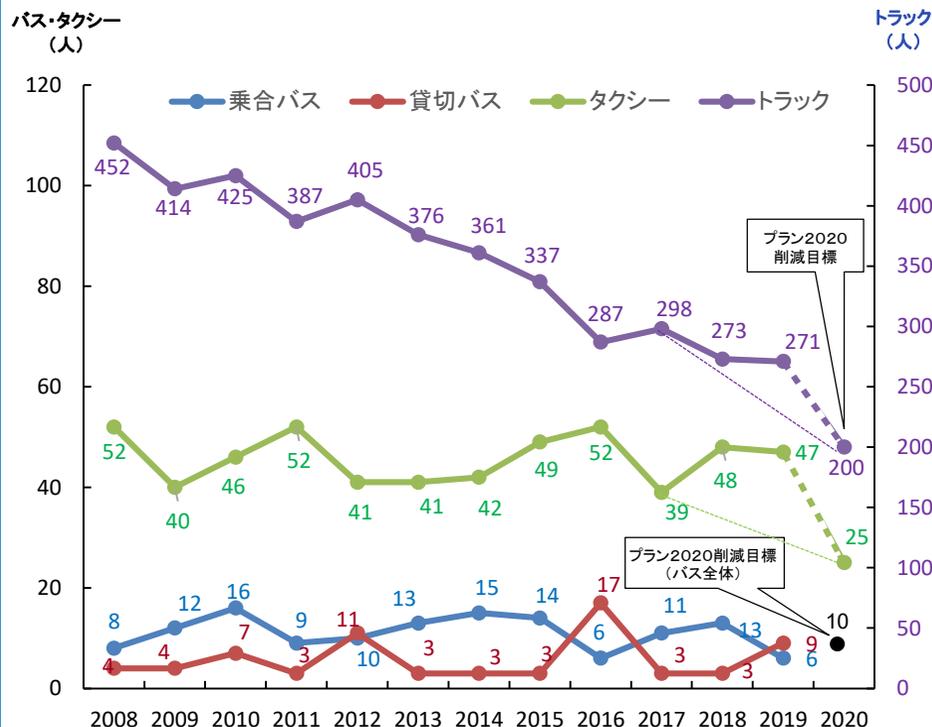
※貸切バスは2012年、2016年の数値が、それぞれ、関越道高速ツアーバス事故、軽井沢スキーバス事故により大きくなっている。

交通事故全体と事業用自動車の交通事故死者数の推移



出典: 警察庁「交通統計」
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

各モードの交通事故死者数の推移

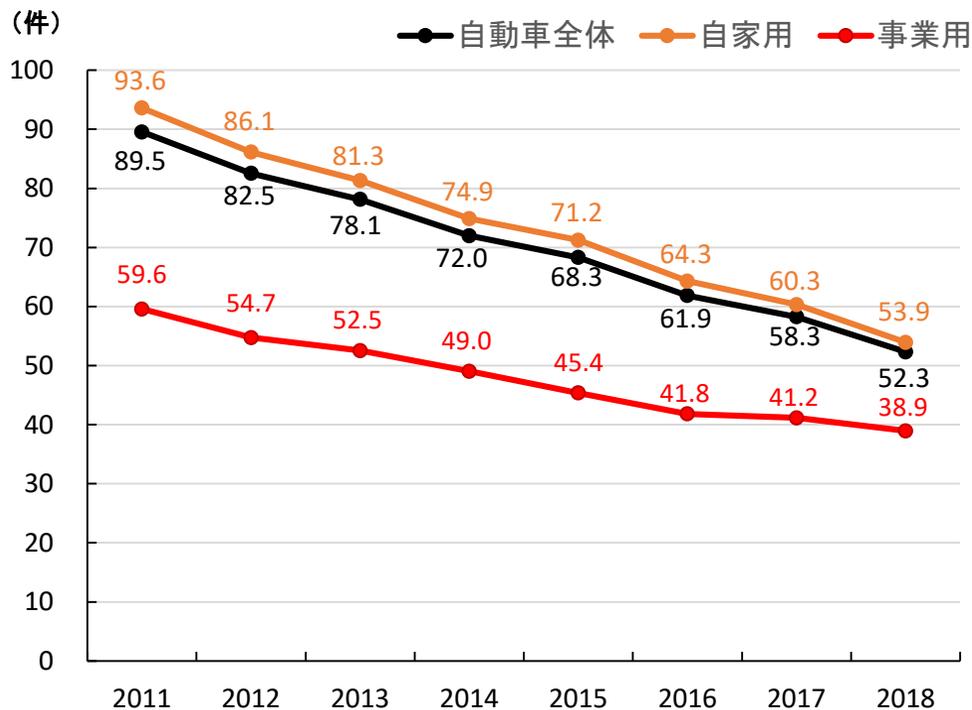


出典: 警察庁「交通統計」
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

走行距離1億キロあたりの交通事故件数の推移

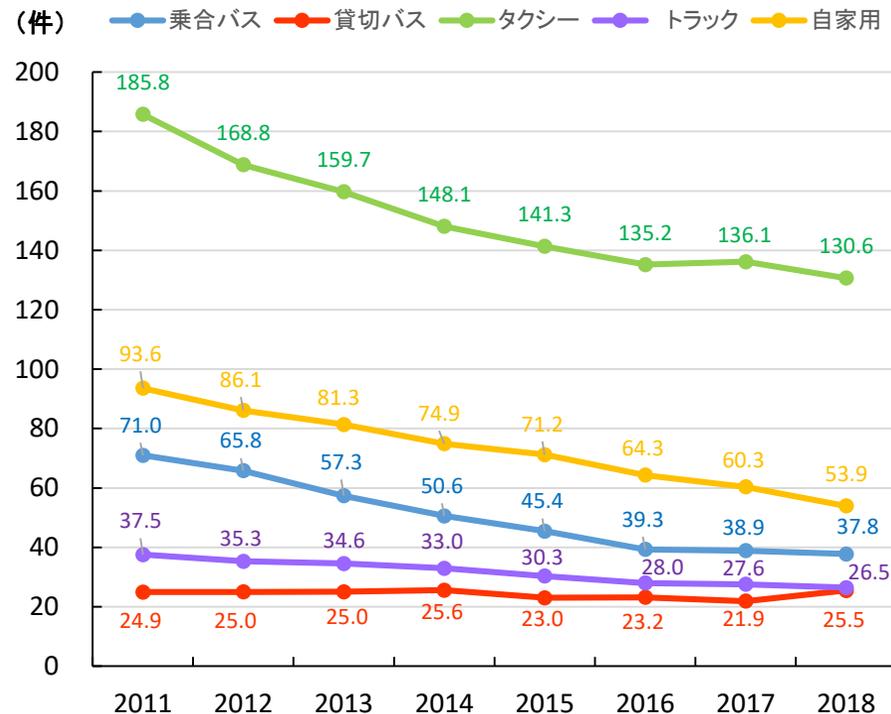
- 走行距離1億キロあたりの交通事故の件数は、事業用が自家用の6~7割程度の件数となっており、減少傾向で推移している。
- 各モードごとでは、タクシーの件数が多いものの、貸切バス以外のモードでは減少傾向で推移している。貸切バスについては、**2018年は増加した**。

走行距離1億キロあたりの交通事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
 国土交通省「自動車輸送統計調査」「自動車燃料消費量調査」

各モードの走行距離1億キロあたりの交通事故件数の推移

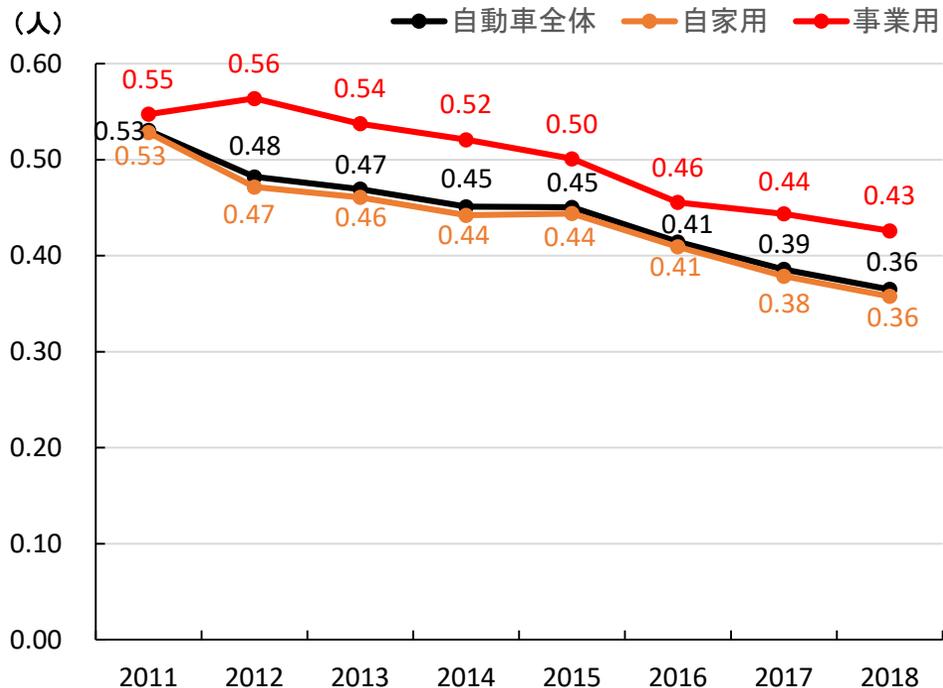


出典：警察庁「交通統計」
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
 国土交通省「自動車輸送統計調査」「自動車燃料消費量調査」

走行距離1億キロあたりの交通事故死者数の推移

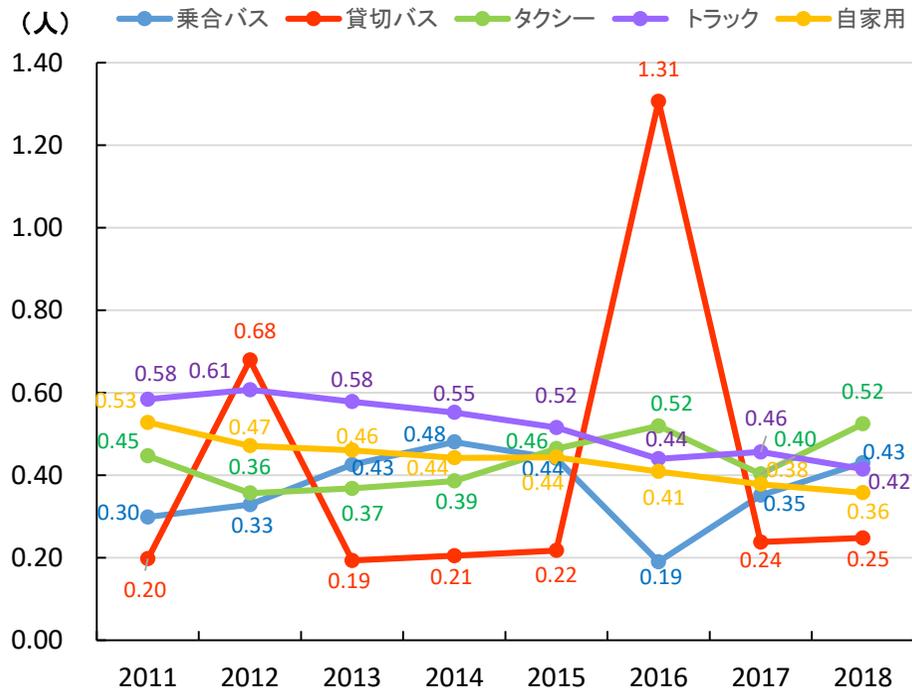
○走行距離1億キロあたりの交通事故死者数は、減少傾向にあり、事業用が自家用を上回っている状況である。
 ○各モードごとの2018年の数値は、タクシー、乗合バス、貸切バスは前年より増加しており、トラックは減少した。
 貸切バスは2012年、2016年の数値が、それぞれ、関越道高速ツアーバス事故、軽井沢スキーバス事故により大きくなっている。

走行距離1億キロあたりの交通事故死者数の推移



出典：警察庁「交通統計」
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
 国土交通省「自動車輸送統計調査」「自動車燃料消費量調査」

各モードの走行距離1億キロあたりの交通事故死者数の推移

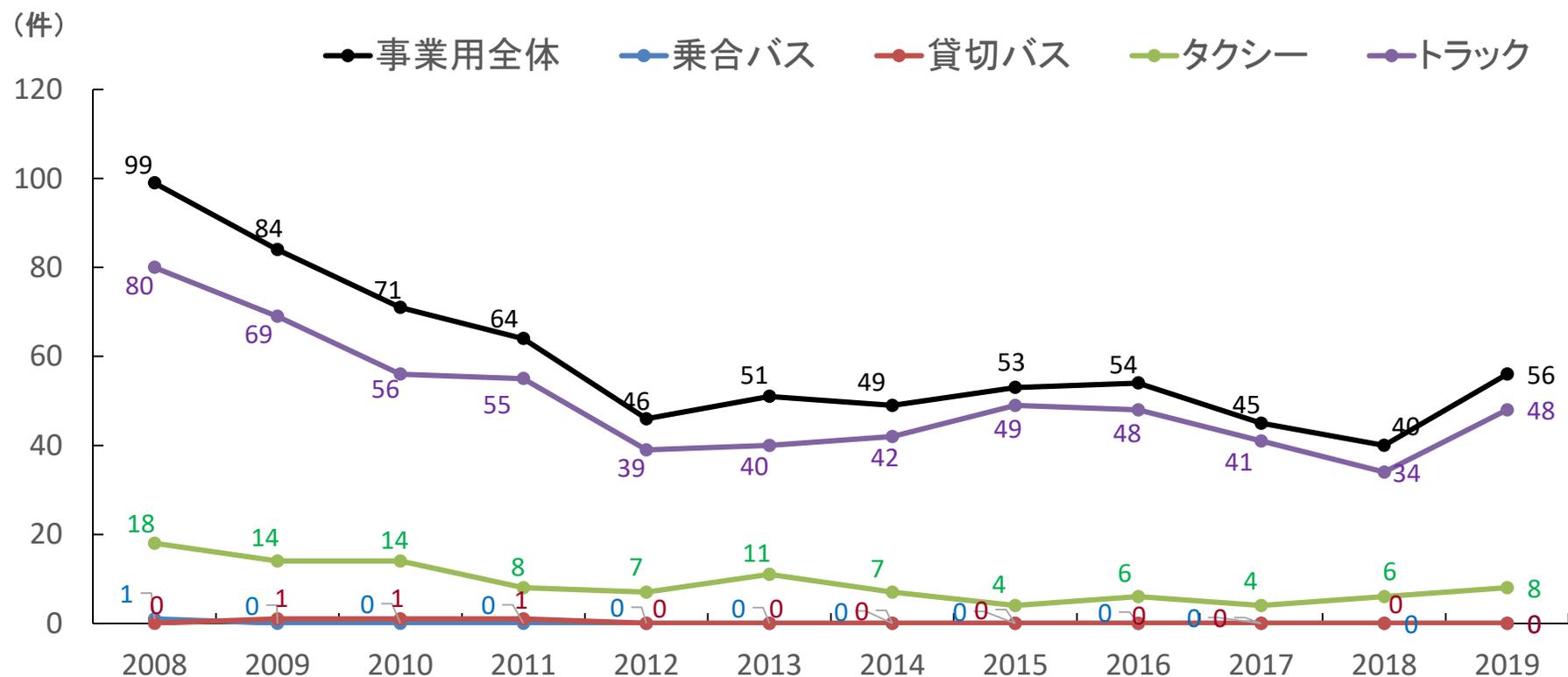


出典：警察庁「交通統計」
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
 国土交通省「自動車輸送統計調査」「自動車燃料消費量調査」

○飲酒運転による事業用自動車の交通事故は、2012年以降は横ばい傾向であるが、2019年は**56**件発生し、**前年(40件)に比べて増加(16件増)**した。

○2019年に発生した飲酒運転による事故56件(前年比:16件増)のうち、**トラックによる事故が48件(前年比:14件増)**、**タクシーによる事故が8件(前年比:2件増)**発生している。

飲酒運転による事業用自動車の交通事故



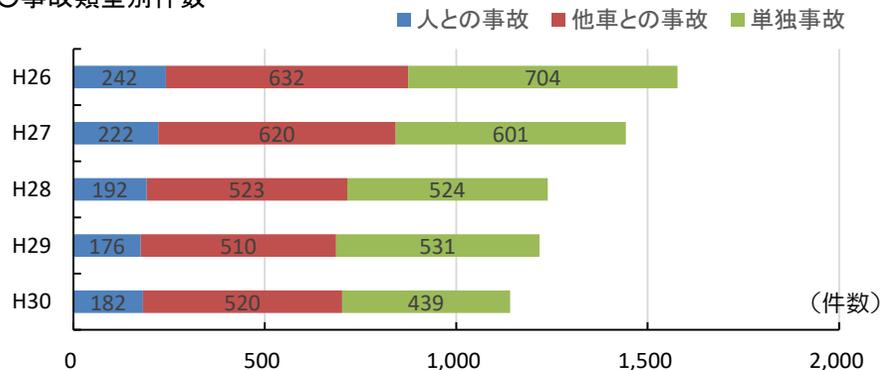
出典:警察庁「交通統計」
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
 ※ 令和2年6月 国土交通省自動車局安全政策課 修正

乗合バスの特徴的な事故

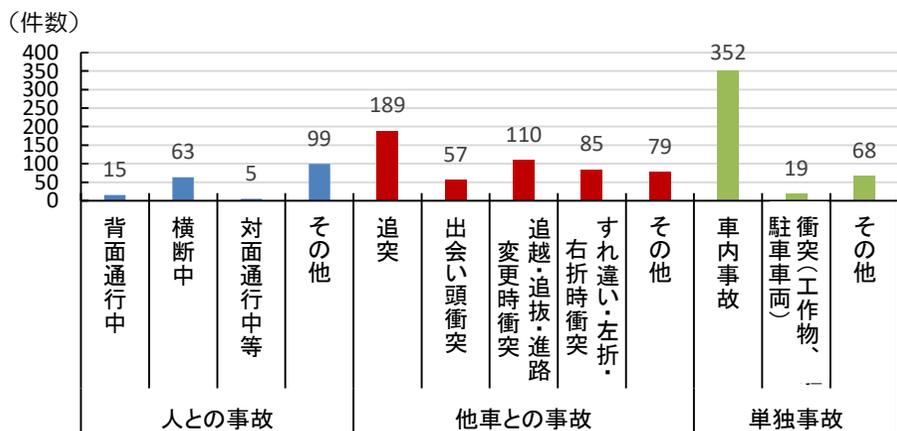
- 交通事故は減少しており、他車との事故が最多となっている。
- 平成30年は事故類型のうち、他車との事故が前年より増加しており、事故類型別事故件数の内訳では車内事故が最多で352件発生し、乗合バス事故全体の30.9%を占めている。
- 平成30年の死亡事故では人との事故が7件発生しており、乗合バス事故全体の53.8%を占めている。

乗合バスの事故類型

○事故類型別件数

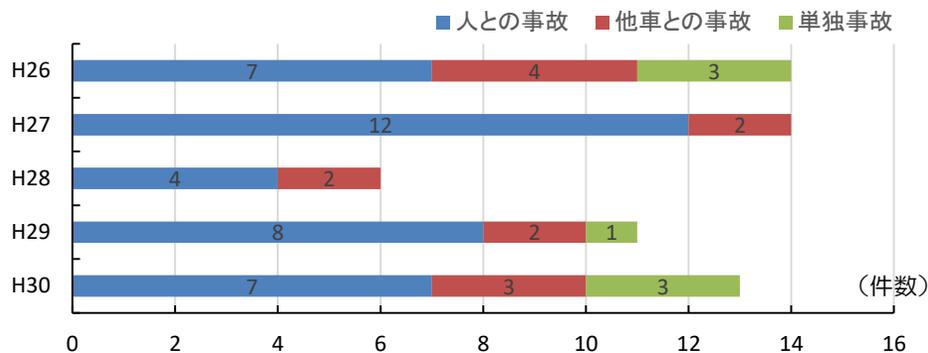


○平成30年事故類型別事故件数の内訳

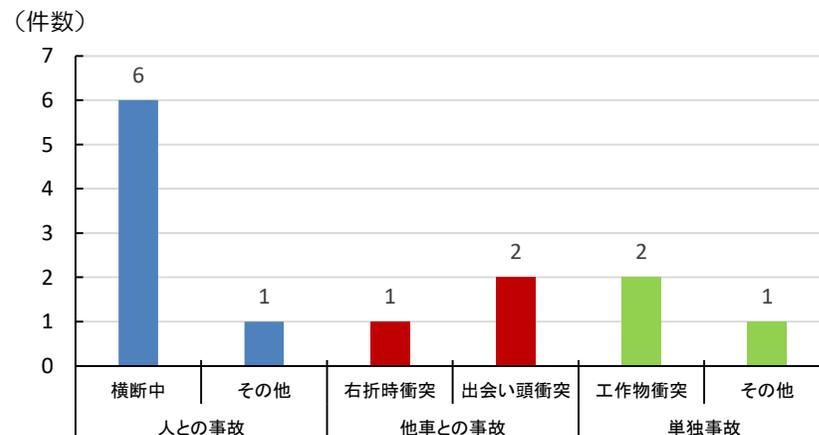


乗合バスの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



○平成30年事故類型別死亡事故件数の内訳

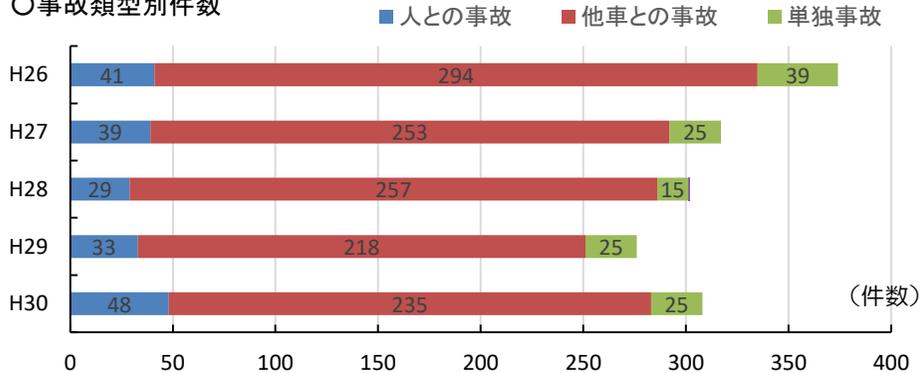


貸切バスの特徴的な事故

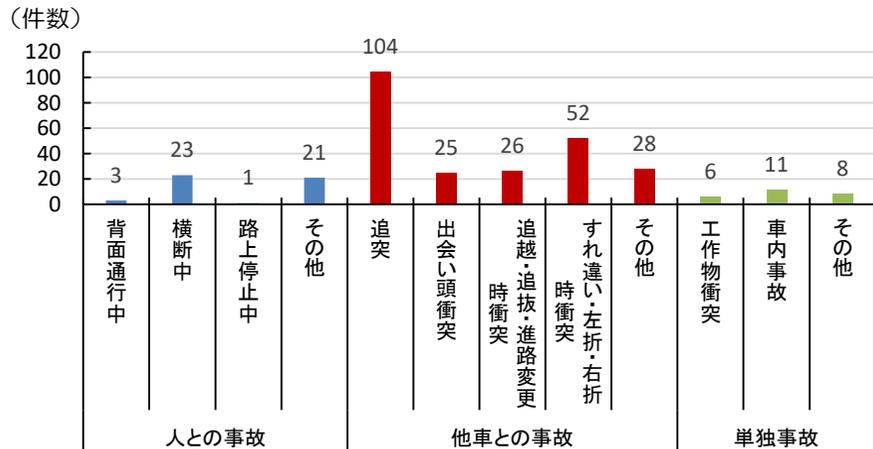
- 交通事故は前年に比べ増加しており、他車との事故が最多となっている。
- 平成30年は事故類型のうち、追突事故が最多で104件発生しており、貸切バス事故全体の33.8%を占めている。
- 死亡事故は近年3~4件前後で推移している。

貸切バスの事故類型

○事故類型別件数

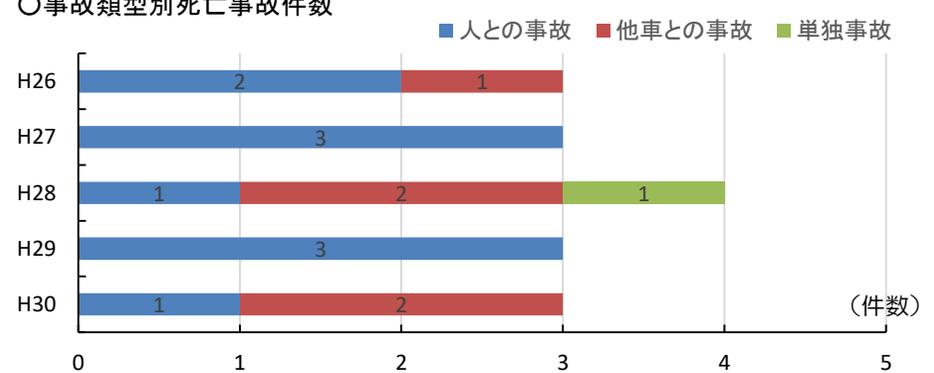


○平成30年事故類型別事故件数の内訳

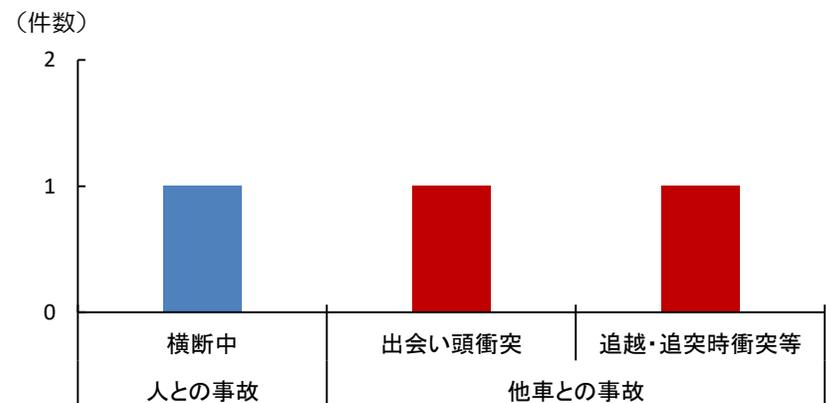


貸切バスの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



○平成30年事故類型別死亡事故件数の内訳

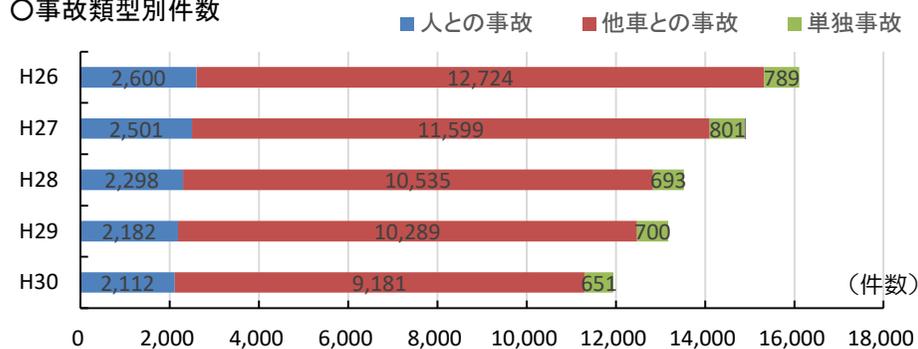


タクシーの特徴的な事故

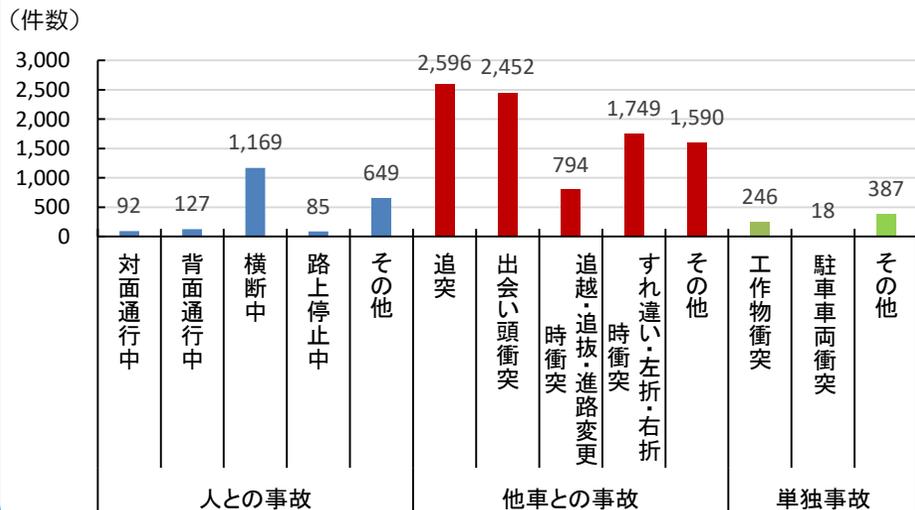
- 交通事故は減少しており、他車との事故が最多となっている。
- 平成30年は事故類型のうち、追突事故が最多で2,596件発生しており、タクシー事故全体の21.7%を占めている。また、次いで出会い頭衝突事故が2,452件発生しており、タクシー事故全体の20.5%を占めている。
- 平成30年は死亡事故が前年に比べ増加した。横断中等の人との事故による死亡事故が増加している。

タクシーの事故類型

○事故類型別件数

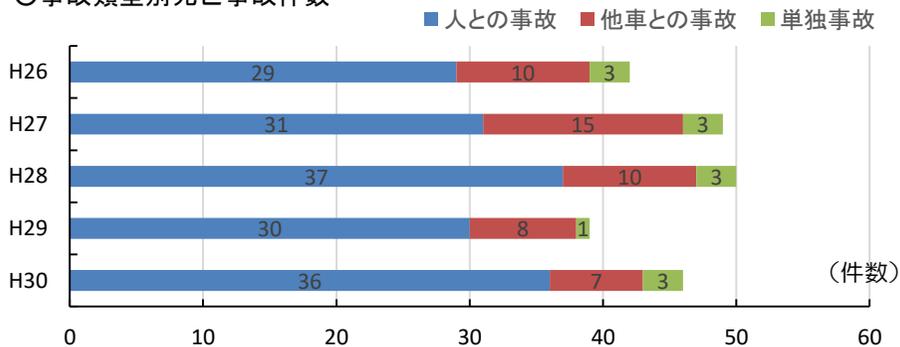


○平成30年事故類型別事故件数の内訳

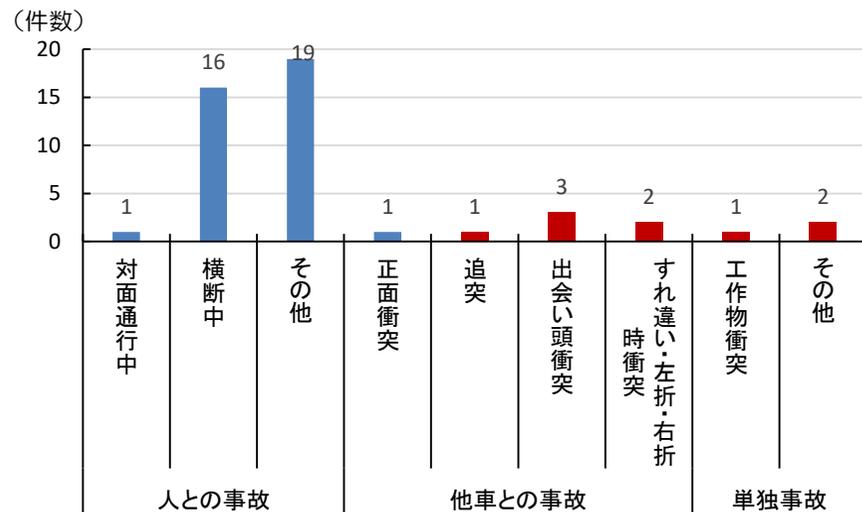


タクシーの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



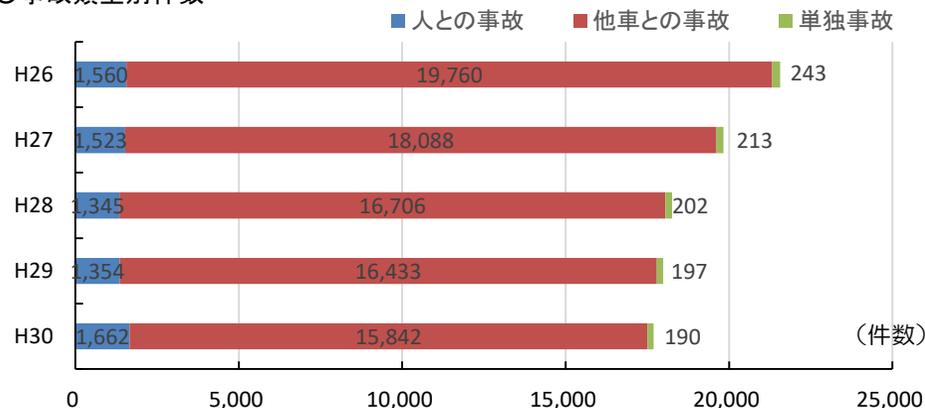
○平成30年事故類型別死亡事故件数の内訳



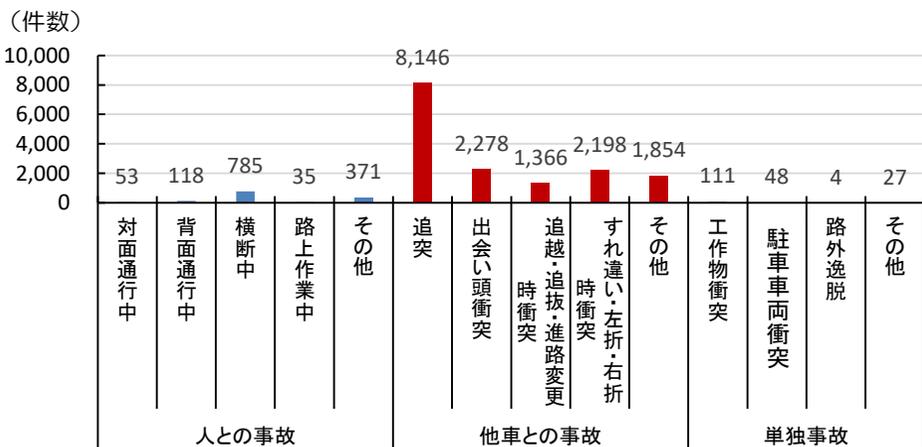
- 交通事故は減少しており、他車との事故が最多となっている。
- 平成30年は事故類型のうち、追突事故が最多で8,146件発生しており、トラック事故全体の46.0%を占めている。
- 平成30年は死亡事故が前年に比べ減少した。追突等の他車との事故による死亡事故が増加している。

トラックの事故類型

○事故類型別件数

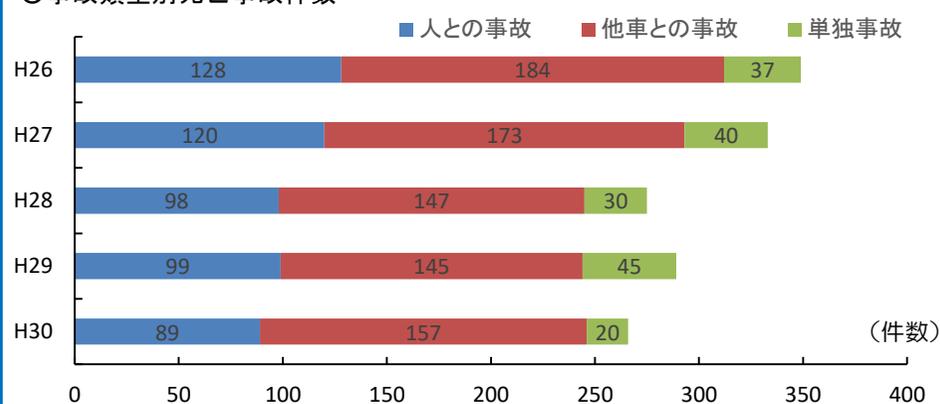


○平成30年事故類型別事故件数の内訳



トラックの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



○平成30年事故類型別死亡事故件数の内訳

